

# はじめに

本報告書の情報集計期間は、1999年度(1999年4月～2000年3月)で、会社名称は2000年4月1日現在のものです。NTTグループとして記述している1999年度の数値は、主にNTT(持株会社)、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTドコモ9社、NTTデータ、NTTファシリティーズ、NTTコミュニケーションウェアから集計しています。なお、1998年以前の数値は、主に再編以前のNTTから集計しています。詳細は巻末のデータ集をご覧ください。

2000年度版からCO<sub>2</sub>排出量をCO<sub>2</sub>換算重量で表記しています。

1999年度版まで表記した炭素(C)換算重量によるCO<sub>2</sub>排出量に3.67を乗じたものがCO<sub>2</sub>換算重量となります。

NTTグループでは、ホームページでも環境に対する情報を発信しています。

<http://www.ntt.co.jp/kankyoo/index.html>

## 各章の要約

- 第1章 「NTTグループ・エコロジー・プログラム21」をコンセプトとした、NTTグループの環境保護推進活動の概要を表します。
- 第2章 NTTグループ各社に共通する基本施策を述べます。
- 第3章 NTTグループの環境問題に対する具体的な取り組みを述べます。
- 第4章 研究開発による環境保護への試みを述べます。
- 第5章 社内外に対するコミュニケーション活動について述べます。
- 第6章 環境保護に関する社会貢献について紹介します。

## NTTグループの認識する環境側面

NTTグループでは、電気通信事業、移動体通信事業、データ通信事業、インターネットサービス事業などの事業活動を通じて各種の高品質な情報流通サービスを提供しています。これらの事業活動には、大気、水質、資源、廃棄物、土壌、地域社会などの環境要素に少なからぬ影響を与えたり、あるいは環境と相互に関連する環境側面が含まれている可能性があります。NTTグループの事業活動と環境との関わりのイメージを次に示します。この中で、特に環境に対する影響度の大きい環境側面として「紙資源使用」、「CO<sub>2</sub>排出」、「廃棄物処理」を主要行動計画目標に設定し、項目を抽出して対策を進めています。

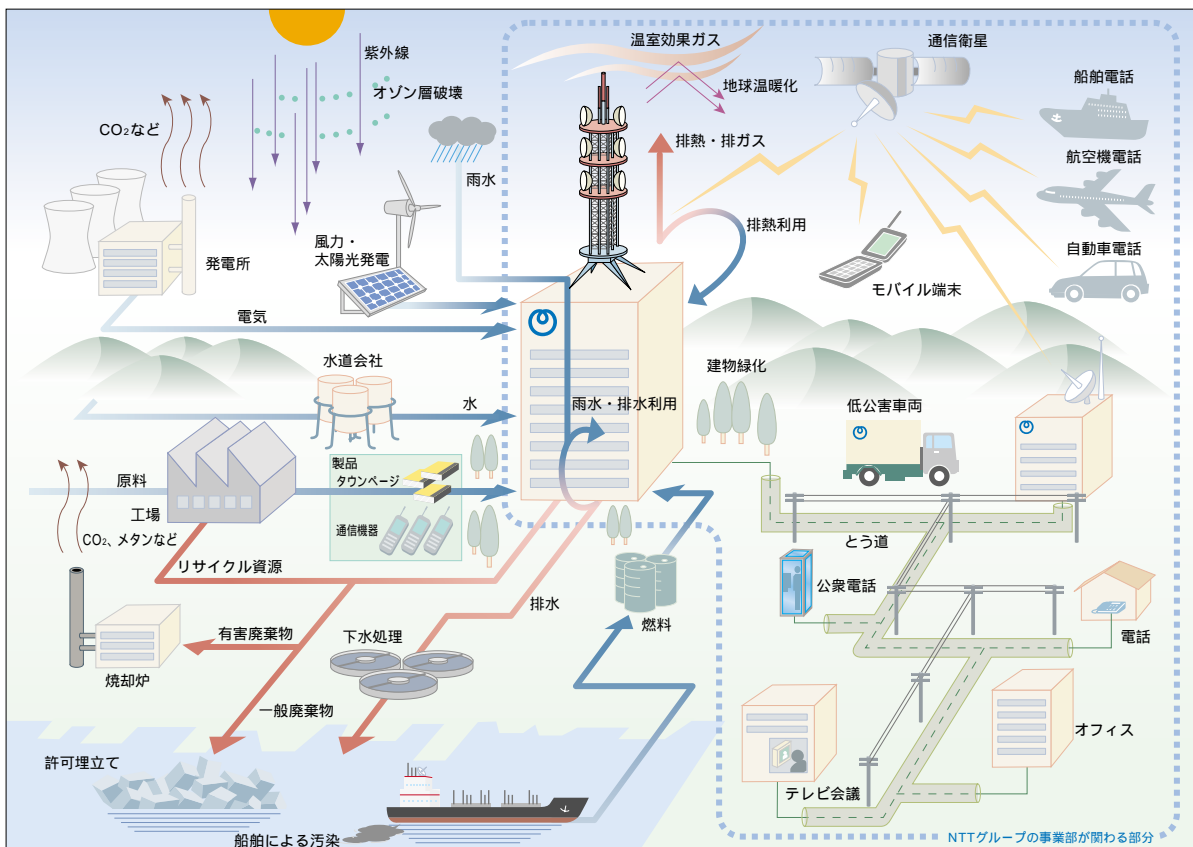


図 NTTグループの認識する環境側面のイメージ